埼玉県・千葉県企業アンケート調査の比較分析(第11回)

「ぶぎん地域経済研究所」および「ちばぎん総合研究所」では、千葉・武蔵野アライアンス(注)の下で、埼玉県・千葉県の企業アンケートに「決算状況」、「設備投資動向」について共通の調査項目を設定し、両県の比較分析を行った。

(注) 16年3月に締結した包括提携契約。

埼玉県アンケート: ぶぎん地域経済研究所

業種別・規模別回答企業数

(単位:社)							
	合計	企業規模					
		100人以上	100人未満				
全 <u>産業</u>	191	91	100				
製造業	114	51	63				
紙加工品等	10	3	7				
化学・プラスチック・ゴム製品	10	6	4				
鉄鋼·非鉄金属	9	4	5				
金属製品	7	4	3				
その他素材型	12	0	12				
一般機械器具	13	8	5				
電気・情報通信機械器具	11	1	10				
電子部品・デバイス	10	5	5				
輸送用機械	8	7	1				
精密機械	4	3	1				
飲•食料品	10	5	5				
印刷•同関連業	5	4	1				
その他製造業	5	1	4				
非製造業	77	40	37				
一般建設	16	5	11				
住宅建設	3	2	1				
卸売	12	3	9				
小売	15	10	5				
運輸・倉庫	9	7	2				
不動産	8	2	6				
その他非製造業	14	11	3				

- 調査要領
- 1. 対象企業…埼玉県内に本社または事業 所を有する企業
- 2. 方 法…郵送によるアンケート方式
- 3. 実施時点

配布: 2021年7月20日 回収: 2021年8月25日

- 4. 回答状況…調査対象企業 536社 内有効回答数 191社 有効回答率 35.6%
 - (注)調査票の回収数は191だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数(母数:n)は異なる。
- (注1)従業員100人以上を「企業規模の大きい企業(大企業)」に、 従業員100人未満を「規模の小さい企業(中小企業)」とした。
- (注2)その他素材型は、繊維·衣服·その他の繊維、木材·木製品·家具、 窯業·土石の3業種。

千葉県アンケート: ちばぎん総合研究所

業種別·本社所在地別·規模別回答企業数

自有		

_	(単位:社)						
		合計	本社员	近在地	企業規模		
		ПВІ	県内	県外	大企業	中小企業	
全產		214	196	18	85	129	
	製造業	111	99	12	24	87	
	食料品	22	19	3	8	14	
	石油・化学	11	7	4	3	8	
	プラスチック	6	5	1	1	5	
	窯業・土石	10	10	0	1	9	
	鉄鋼・非鉄金属	11	11	0	1	10	
	金属製品 一般・精密機械 電気機械	14	11	3	2	12	
		9	9	0	2	7	
		8	8	0	2	6	
	輸送用機械	9	9	0	3	6	
	その他製造	11	10	1	1	10	
	非製造業	103	97	6	61	42	
	建設	17	15	2	9	8	
	運輸・倉庫	11	11	0	4	7	
	卸売	18	16	2	10	8	
	小売	15	15	0	11	4	
	ホテル・旅館	10	9	1	5	5	
	サービス	32	31	1	22	10	

- 注) 大企業、中小企業の区分は下記による。
 - 大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。
 - 中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

調査要領

- 1. 対象企業… 千葉県内に本社または 事業所を有する企業
- 方 法… 郵送によるアンケート 方式
- 3. 実施期間… 配付: 2021年 9月1日 回収: 2021年 10月12日
- 回答状況… 調査対象企業 560社 内有効回答数 214社

有効回答率 38.2%

(注)調査票の回収数は214 だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数(母数:n)は異なる。

*(参考) 埼玉県と千葉県の比較

	単位	年次	全国	埼玉県	順位	千葉県	順位
事業所数	力所	2016	5,340,783	240,542	5	188,740	9
住宅着工	戸	2020	815,340	48,039	5	43,070	6
商店数	千店	2016	1,355	57	6	47	9
商品販売額	百億円	2015	58,163	1,835	7	1,351	9
製造品出荷額等	百億円	2019	32,253	1,376	6	1,252	8
延べ宿泊者	万人	2020	33,165	349	31	1,413	6

事業所数(2016年)

(単位:力所、%)

				. /
	埼玉県構成比		千葉県	構成比
全産業(公務を除く)	240,542	ı	188,740	_
農林漁業	576	0.2	1,001	0.5
鉱業,採石業,砂利採取業	33	0.0	60	0.0
建設業	25,762	10.7	19,912	10.5
製造業	26,691	11.1	11,082	5.9
電気・ガス・熱供給・水道業	132	0.1	131	0.1
情報通信業	1,684	0.7	1,457	0.8
運輸業,郵便業	6,909	2.9	5,504	2.9
卸売業, 小売業	56,851	23.6	47,017	24.9
金融業,保険業	3,049	1.3	2,821	1.5
不動産業,物品賃貸業	16,584	6.9	12,233	6.5
学術研究,専門・技術サービス業	8,573	3.6	6,831	3.6
宿泊業、飲食サービス業	27,883	11.6	25,104	13.3
生活関連サービス業、娯楽業	22,637	9.4	19,310	10.2
教育, 学習支援業	9,056	3.8	6,903	3.7
医療, 福祉	20,058	8.3	16,820	8.9
複合サービス事業	937	0.4	981	0.5
サービス業(他に分類されないもの)	13,127	5.5	11,573	6.1

(出所:経済センサス活動調査)

産業分類別 製造品出荷額等(2019年·従業員4名以上) (単位:億円、%)

			(手位)	:100円、%)
	埼玉県	構成比	千葉県	構成比
製造業合計	137,582	-	125,183	-
素材型	42,894	31.2	77,767	62.1
化学	17,356	12.6	22,009	17.6
石油製品·石炭	386	0.3	28,480	22.8
鉄鋼	3,764	2.7	16,270	13.0
プラスチック	6,786	4.9	2,895	2.3
窯業·土石	2,805	2.0	3,020	2.4
繊維	851	0.6	244	0.2
非鉄金属	5,904	4.3	3,429	2.7
パルプ・紙・紙加工品	5,042	3.7	1,419	1.1
加工型	58,808	42.7	22,709	18.1
輸送用機械器具	24,232	17.6	1,314	1.0
電気機械器具、情報通信	8,667	6.3	3,263	2.6
業務用機械器具	4,780	3.5	1,423	1.1
生産用機械器具	5,729	4.2	5,729	4.6
電子部品・デバイス・電子回路	3,376	2.5	1,786	1.4
はん用機械器具	4,176	3.0	2,285	1.8
金属製品	7,848	5.7	6,909	5.5
生活関連・その他	35,880	26.1	24,707	19.7
食料品	20,489	14.9	16,238	13.0
飲料・たばこ等	2,044	1.5	3,905	3.1
印刷•同関連業	7,042	5.1	1,061	0.8
その他(ゴム・家具等)	6,305	4.6	3,503	2.8

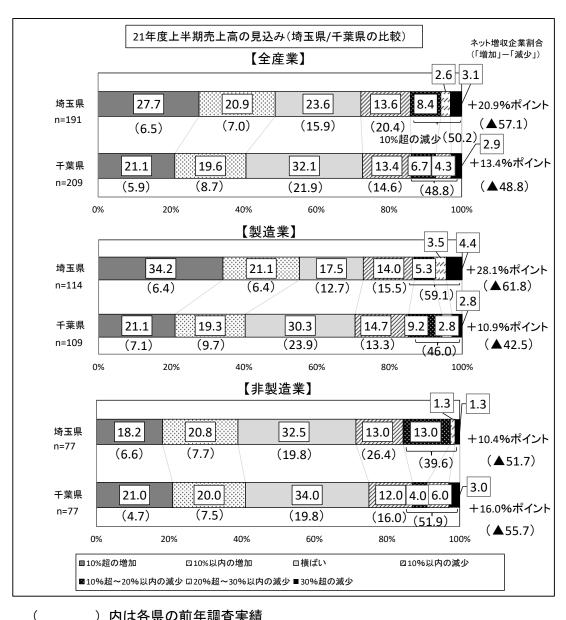
(出所:工業統計調査)

21 年度上半期業績見込み

決算状況は、21年度上半期実績見込み(対20年度上半期比)と21年度通期見通し(対 20年度通期比)について調査した。

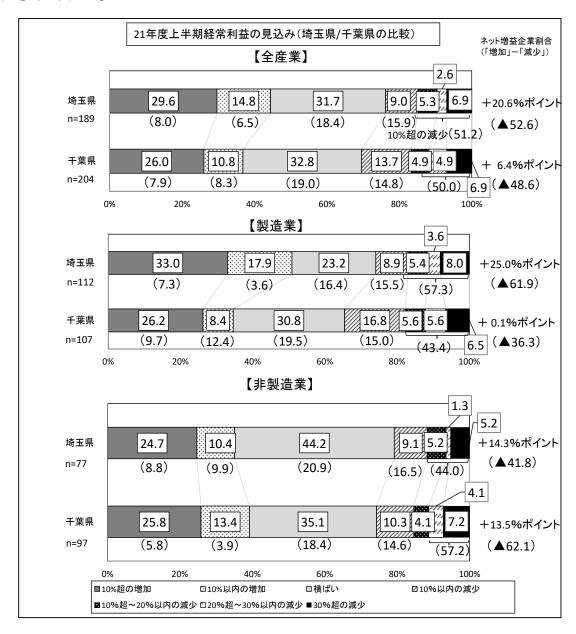
上半期の売上高をみると、「増収」社数構成比から「減収」社数構成比を引いた「ネット 増収企業割合 |は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかった 20 年度上半期に比べ、 埼玉県、千葉県ともにプラス(増収企業超)となった。

ネット増収企業割合は、製造業において埼玉県(+28.1%ポイント)が千葉県(+10.9% ポイント)を上回った。加工型製造業の多い埼玉県では、素材型製造業の多い千葉県に比べ て、世界経済の景気回復や為替円安傾向の影響が強めに現れたと考えられる。一方、非製造 業では千葉県(+16.0%ポイント)が埼玉県(+10.4%ポイント)を上回った。



)内は各県の前年調査実績

経常利益の「増益」社数構成比から「減益」社数構成比を差し引いた「ネット増益企業割合」では、製造業において埼玉県(+25.0%ポイント)が千葉県(+0.1%ポイント)を大きく上回った。



)内は各県の前年調査実績

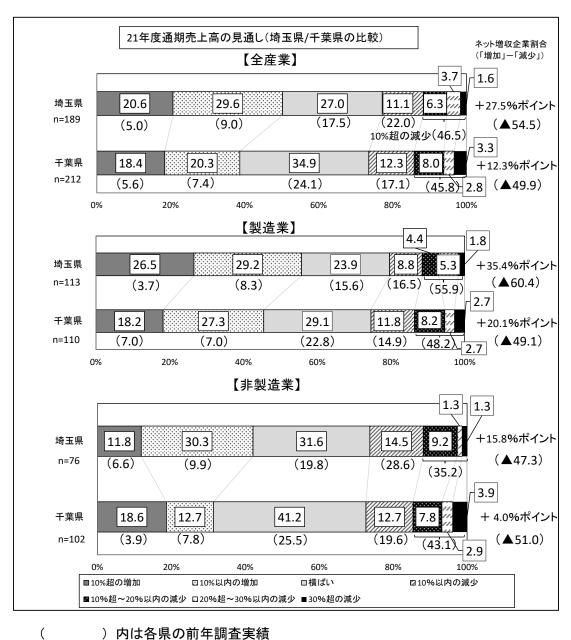
(

		調査期間 回答数		期間中の日経平均 終値平均	期間中の為替相場 (ドル円)の平均
₩ Т	今回	21年7月20日~8月25日	191	27, 653. 02円	109.82円/テル
埼玉	前回	20年7月21日~8月25日	201	22, 737. 49円	105. 91円/ ^ド ル
七	今回	21年9月1日~10月12日	214	29, 389. 08円	110. 66円/ ^ド ル
千葉	前回	20年9月1日~10月12日	222	23, 333. 86円	105. 67円/ドル

21 年度通期業績見通し

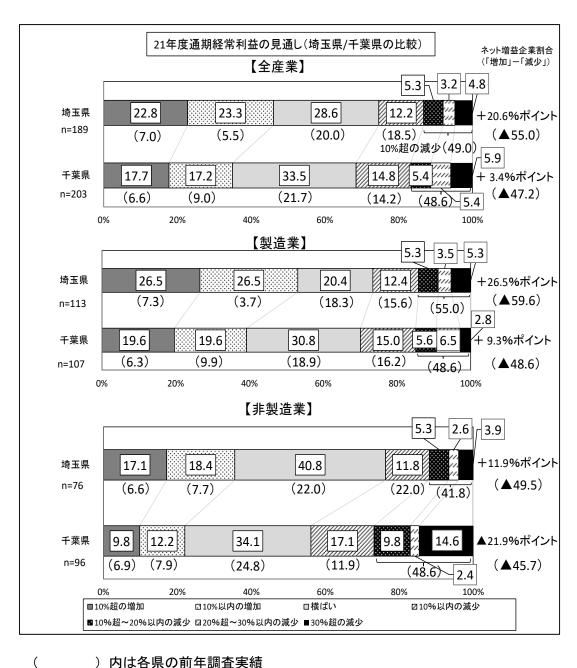
通期のネット増収企業割合も、埼玉県、千葉県ともにプラス(増収企業超)となった。通 期では、ネット増収企業割合は、製造業、非製造業ともに埼玉県が千葉県を上回った。

全産業では、減収企業の割合(「減収」社数構成比)は、埼玉県(22.7%)が千葉県(26.4%) を 3.7 ポイント下回っている一方、増収企業の割合(「増収」社数構成比)は、埼玉県(50.2%) が千葉県(38.7%)を11.5ポイント上回っている。



)内は各県の前年調査実績

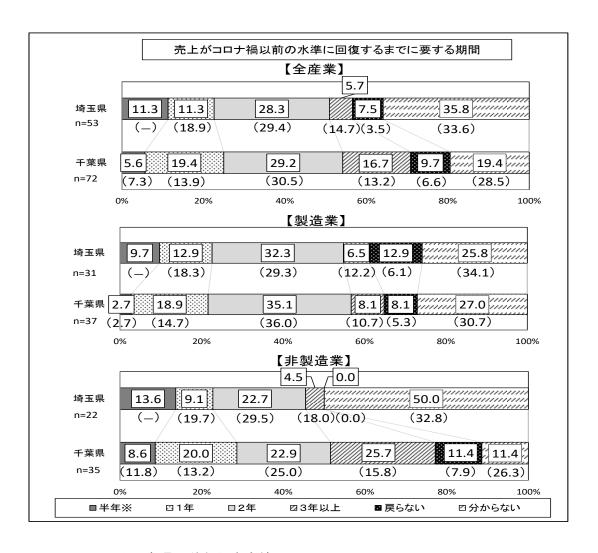
通期のネット増益企業割合も、製造業、非製造業ともに埼玉県が千葉県を上回った。 全産業では、減益企業の割合(「減益」社数構成比)は、埼玉県(25.5%)が千葉県(31.5%) を 6.0 ポイント下回っている一方、増益企業の割合(「増益」社数構成比)は、埼玉県(46.1%) が千葉県(34.9%)を11.2ポイント上回っている。



)内は各県の前年調査実績

売上高がコロナ禍以前の水準に回復するまでの期間

売上高がコロナ禍以前の水準に回復するまでに要する期間(「分からない」を除く)は、 埼玉県、千葉県ともに「2年」とする先が最も多かった(回答対象は上半期売上が前年度比減少した先)。

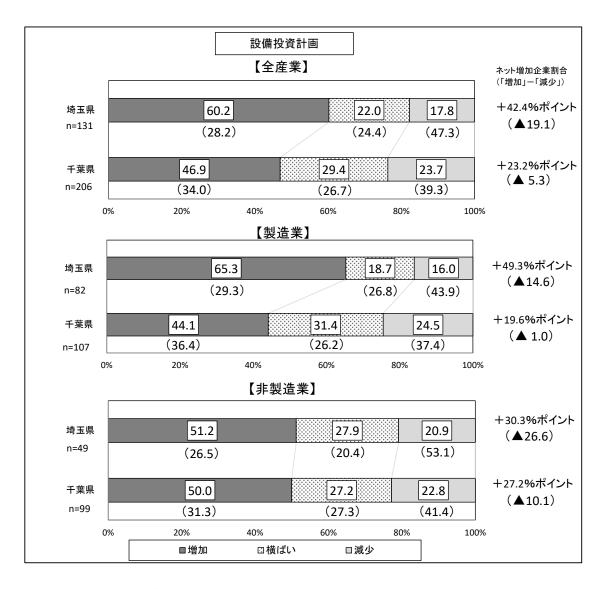


() 内は各県の前年調査実績

※前年の設問は、千葉県は「1年未満」、埼玉県は未実施

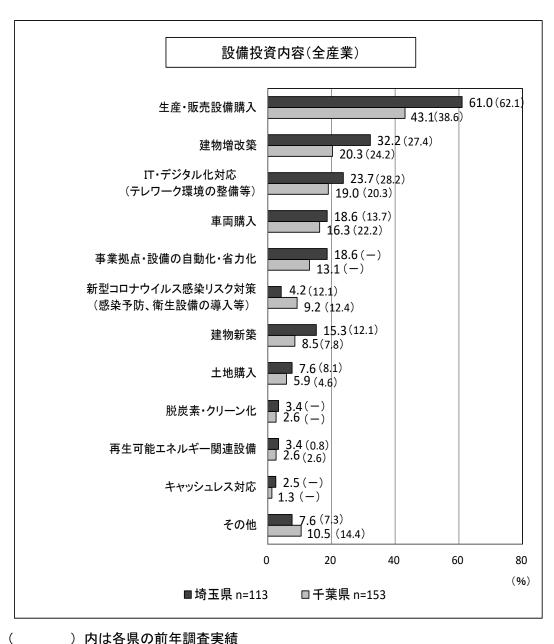
設備投資の動向

21 年度のネット設備投資増加企業割合は、両県ともにプラス(増加企業超)となった。 投資を拡大する企業の割合は、製造業、非製造業ともに、埼玉県が千葉県を上回った。



() 内は各県の前年調査実績

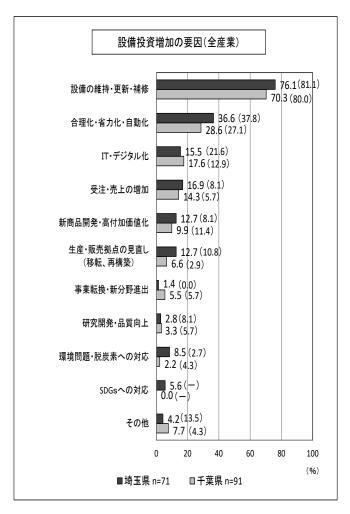
計画している設備投資の内容をみると、両県ともに「生産・販売設備購入」を挙げる先が 最も多く、次いで「建物増改築」、「IT・デジタル化対応」の順となった。

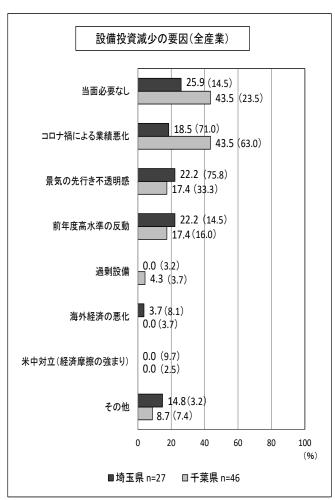


)内は各県の前年調査実績

設備投資増加の要因は、両県とも「設備の維持・更新・補修」が最も多く、「合理化・省力化・自動化」が続いた。

設備投資減少の要因は、埼玉県では「当面必要なし」が 25.9%で最も多く、次いで「景気の先行き不透明感 (22.2%)」、「前年度高水準の反動 (同)」が同率で続いた。一方、千葉県では「当面必要なし」と「コロナ禍による業績悪化」が 43.5%で最も多く、次いで「景気の先行き不透明感 (17.4%)」、「前年度高水準の反動 (同)」が同率で続いた。





() 内は各県の前年調査実績

以上